

愛知県保険医協会

学生会員ニュース No.32

発行：愛知県保険医協会

住所：〒466-8655名古屋市昭和区妙見町19-2

TEL：052-832-1345 FAX：052-834-3512

ホームページ <http://aichi-hkn.jp/> e-mail aichi-hkn@doc-net.or.jp

【学生会員のみなさんへ】

こんにちは、急に暑い夏のようなお天気となりました。みなさんいかがお過ごしでしょうか？今回の学生ニュースでは、現在国会で審議中の「医療改革関連法案」について取り上げています。

なかなか身近に感じられない国会ですが、現在、我々の生活に大きな影響を与える法案が次々と採決されようとしています。目を向け、意識し、意見を持つことが今求められているのではないのでしょうか。

今国会で審議されている「医療改革関連法案」の中身は？

①入院時食事療養、現在1食260円の自己負担を段階的に460円に引き上げ②新たな「混合診療」の仕組みである「患者申出療養」の創設③紹介状なしの大病院受診時の追加定額負担(5千円～1万円)④75歳以上の保険料を大幅に引き上げ⑤国保の都道府県化等をはじめ、国民の生活に大きな影響を与え、多岐に渡る内容も様々な法案を一括法案として、成立させようと政府・与党は狙っています。



こんなにたくさんの中身を一括に審議してもよいの？

これまでであれば一つ一つ個別に審議してきたような、多様な法案を一括法案で上程。しかも今回衆議院での審議は参考人質疑を入れてもわずか22時間足らずです。この短い審議の間に出された疑問・懸念に対し、「詳細はこれから検討」と具体的な答弁もないまま、衆議院で自民・公明・維新の賛成で可決しました。政府・与党は昨秋にも「医療・介護総合法案」として医療法や介護保険法等重要な法案を計19本の法改正を一本化して成立させています。

また、政府・与党は、国のあり方を根本から転換させる安保法制についても他国を武力で守る集団的自衛権の行使容認を含む十本を「平和安全法制整備法案」として一本化した上、「国際平和支援法案」とともに同時審議を狙っています。こうした一括上程の手法は、審議時間を大幅に減らすとともに、審議の中で懸念・疑問が噴出し国民の反対世論が巻き起こることを抑える目的があり、国会軽視・国民軽視としか言えません。保険医協会では、重要な法案への十分な審議を求めるとともに、廃案を求めています。

全国保険医団体連合会&愛知県保険医協会

講演会のご案内

※お弁当を準備します。(参加費もお弁当も無料です！)

※参加希望の方は、裏面のFAXかe-mailでお申込み下さい。

テーマ：「医療事故調査制度にかかわる成果と今後の課題(仮)」

講師：大磯 義一郎氏(浜松医科大学医学部医療法学教授、帝京大学医療情報システム研究センター客員教授)

とき：2015年6月7日(日)午前11時～12時半

ところ：安保ホール(名古屋駅前・大名古屋ビルディングすぐ北)

名古屋市中村区名駅3-15-9 TEL052-561-9831

新しい医療事故調査制度が今年10月からスタートします。この制度はどの医療機関にも関わる問題であり、勤務医にも影響を与えることは確実です。講師の大磯氏は「医療事故調査制度の施行に係る検討会」のメンバーで医師と弁護士のライセンスを持ち、医療と司法の相互理解に取り組まれています。医療事故調査制度の概要や今後の課題をお話しますので、是非お気軽ご参加ください。

FAX : 052-834-3512

E-mail : aichi-hkn@doc-net.or.jp

◎愛知県保険医協会・講演会申込用紙

お名前	
ご連絡先	住所 TEL 又は E-mail
2015 年 6 月 7 日開催 講演会 テーマ：「医療事故調査制度にかかわる成果と今後の課題（仮）」に参加希望	
◎ご意見・質問、取り上げて欲しい話題等、なんでもご記入ください。	

【安保ホール地図】

